

資料2

(1)利用者支援事業【基本型、母子保健型(子育て世代包括支援センター)】

	子育て世代包括支援センター		子育て支援センター(児童館)			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
提供量の見込み	-	2	2	2	2	2
開設施設数	2	2	2	2	2	

単位：施設数

・実施状況

定期的にご子育て世代包括支援センターと子育て支援センターとの連携会議を行った。出張ひろば、乳幼児教室、3、4か月健診、マタニティカフェなどに利用者支援専門員が向向き、出張相談を実施した。

(2)地域子育て支援拠点事業

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
提供量の見込み	3,912	12,150	12,427	12,309	12,193	12,047
延べ利用回数実績	10,725	6,118	5,305	6,596	10,323	
評価	◎	○	○	○	○	

単位：人

(評価欄記載項目)

- ・提供量に対し、◎ 満足のいく利用実績であった
- 概ね満足のいく利用実績であった
- △ 不満である

・評価と課題

新型コロナウイルスが5類となり、人数制限をなくしたため、行事もコロナ禍前と同じように実施できるようになり、利用者の増加につながった。

(3)妊婦健康診査

	令和元年度 妊婦・産婦	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
提供量の見込み	1,631	1,501	1,479	1,457	1,435	1,414
延べ利用回数実績	1,389	1,348	1,122	1,252	1,169	
評価	◎	◎	◎	◎	◎	

単位：回

(評価欄記載項目)

- ・提供量に対し、◎ 満足のいく利用実績であった
- 概ね満足のいく利用実績であった
- △ 不満である

・評価と課題

妊娠届けのあった妊婦に対し、合計14回(基本健診・超音波検査・子宮頸がん検診などの健診費用の一部助成を行った。契約医療機関以外の医療機関で受診した場合でも、償還払いで対応し、様々なニーズに応えることができた。今後も継続して、妊婦の経済的負担の軽減をはかるとともに、妊娠中の健康管理を実施していく。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
提供量の見込み	-	224	234	244	254	264
延べ利用回数実績	-	126	122	128	129	
評価	-	◎	◎	◎	◎	

単位：回

(評価欄記載項目)

- ・提供量に対し、◎ 満足のいく利用実績であった
- 概ね満足のいく利用実績であった
- △ 不満である

・評価と課題

産婦に対して、産後2週間、4週間の2回分の産婦健診費用の助成を行った。診察などによる身体的な状態の評価とともに、エジンバラ産後うつ病質問票(EPDS)による産後の精神的な状態も評価し、産後の支援につなげることができた。令和3年度からは医療機関契約にて実施したが、契約医療機関以外を受診した場合でも、償還払いで対応し、様々なニーズに応えることができた。

(4) 乳児家庭全戸訪問事業

子育て支援課

単位：人

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
提供量の見込み	130	140	138	136	134	132
延べ人数実績	113	113	103	96	109	
評価	◎	◎	◎	◎	◎	

(評価欄記載項目)

- ・提供量に対し、◎ 満足のいく利用実績であった
- 概ね満足のいく利用実績であった
- △ 不満である

・評価内容と課題

出生した、すべての母子に対して訪問を行った。訪問では、母子の健康状態や育児状況を確認し、子育て支援情報の提供や、育児相談・保健指導を行うことができた。

(5) 養育支援訪問事業及要保護児童対策地域協議会その他の者による要保護児童等に対する支援に資する事業

子育て支援課

○養育支援訪問事業

単位：人

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
提供量の見込み	10	25	25	20	20	20
実人数実績	22	37	18	22	29	
評価	◎	◎	○	◎	◎	

(評価欄記載項目)

- ・提供量に対し、◎ 満足のいく利用実績であった
- 概ね満足のいく利用実績であった
- △ 不満である

・評価内容

子育てに対して不安や孤立感等を抱えたり、さまざまな原因で養育支援が必要な母子が増えており、本市では、妊娠届出書の情報と面談時の様子をもとに、妊娠期から支援の必要の有無、赤ちゃん訪問や健診時の様子から支援の必要の有無など、地区担当の保健師が状況に応じて電話や訪問を行っている。また関係機関と連携を図りながら支援を行っている。

○要保護児童対策地域協議会その他の者による要保護児童等に対する支援に資する事業

・実施状況

山県市要保護児童対策及びDV防止対策地域協議会として、本市における支援対象児童等の早期発見及び適切な保護又はケアを図るため、親子双方に寄り添い地域の関係機関と連携し、情報共有をしながら実施している。代表者会議・実務者会議・個別ケース会議等を開き対応にあたっている。

(6) 子育て短期支援事業

子育て支援課

単位：人

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
提供量の見込み	18	16	16	15	15	15
延べ利用人数実績	9	0	0	1	0	
評価	○	△	△	△	△	

(評価欄記載項目)

- ・提供量に対し、◎ 満足のいく利用実績であった
- 概ね満足のいく利用実績であった
- △ 不満である

・評価内容と課題

令和5年度については、短期入所生活支援事業(ショートステイ事業)の利用者はなかった。

(7) 子育て援助活動支援事業
(ファミリー・サポート・センター事業)

子育て支援センター(児童館)

単位: 人

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
提供量の見込み	150	150	150	150	150	150
延べ利用人数実績	126	76	111	145	77	
評価	○	△	○	○	△	

(評価欄記載項目)

- ・提供量に対し、
 - ◎ 満足のいく利用実績であった
 - 概ね満足のいく利用実績であった
 - △ 不満である

・評価内容と課題

令和5年度から、地域で安心して子育てができるよう、子育ての援助を受ける依頼会員の負担軽減を図るとともに、援助会員の援助意欲向上及び援助会員の増加を図るため補助を実施した。
1、2月の依頼82件に対し、雪による道路事情などの理由でキャンセルが68件あり、実働件数が11件だったため、全体の実績に影響した。
依頼会員(75人)に対し、援助会員(25人)が少ないのが課題である。

(8) 一時預かり事業

子育て支援課

保育園・幼稚園

単位: 人

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
提供量の見込み	3,320	385	369	358	345	337
延べ利用人数実績	248	136	148	206	106	
評価	○	○	○	○	○	

(評価欄記載項目)

- ・提供量に対し、
 - ◎ 満足のいく利用実績であった
 - 概ね満足のいく利用実績であった
 - △ 不満である

・評価内容と課題

令和5年度は利用希望者が少なかったため延べ利用人数が減少したが、希望通りの一時預かり事業を提供できている。今後も利用者のニーズに応えられる体制と今後の人員配置の両面を考えながら対応に努めていく。

(9) 延長保育事業

子育て支援課

各保育園

単位: 人

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
提供量の見込み	168	182	180	174	171	166
利用実人数実績	222	149	113	141	151	
評価	◎	○	○	○	○	

(評価欄記載項目)

- ・提供量に対し、
 - ◎ 満足のいく利用実績であった
 - 概ね満足のいく利用実績であった
 - △ 不満である

・評価内容と課題

希望通りに延長保育を提供できている。今後もニーズに応えられる体制を継続し対応に努めていく。

(10) 病児・病後児保育事業

子育て支援課

単位：人

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
提供量の見込み	162	291	278	274	261	253
延べ利用人数実績	223	74	219	254	291	
評価	○	△	△	○	○	

(評価欄記載項目)

- ・提供量に対し、
 - ◎ 満足のいく利用実績であった
 - 概ね満足のいく利用実績であった
 - △ 不満である

・評価内容と課題

市内外の病児病後児保育施設の利用は感染症疾患等により増加した。引き続き事業の周知を図り子育て支援に努める。

(11) 放課後児童クラブ(放課後児童健全育成事業)

子どもげんきはうす

単位：人

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
提供量の見込み	183	248	257	255	253	243
利用実人数実績	244	232	213	212	223	
評価	◎	○	○	○	○	

(評価欄記載項目)

- ・提供量に対し、
 - ◎ 満足のいく利用実績であった
 - 概ね満足のいく利用実績であった
 - △ 不満である

・評価内容と課題

保護者の就労等により昼間の家庭での保護指導を受けることができない児童を対象に、保護者等に代わって児童の生活指導及び遊びの促進等を実施することができた。また、待機児童を発生させることなく保護者のニーズに応えることができた。
配慮を要する児童対応や利用児童増加により必要となる支援員の確保や児童の対象学年の拡充、クラブ未開設校について、利用児童増加に伴うクラブ室の整備など引き続き検討していく必要がある。

(12) 実費徴収に係る補足給付を行う事業

子育て支援課

・実施状況

新制度に移行していない幼稚園の給食費のうち副食費について、年収360万円未満世帯の子どもまたは、所得階層にかかわらず第3子以降の子ども(小学校3年生終了前の最長子を第1子と数えて、3人目以降)を対象に補足給付を実施した。

(13) 多様な事業者の参入促進・能力活用事業

子育て支援課

・実施状況

この事業は、認定こども園において私学助成(特別支援教育経費)や障害児保育事業の対象とならない特別な支援が必要な子どもを受け入れる場合に、職員(幼稚園教諭免許状又は保育士資格を有する者)の加配に必要な費用を補助する事業である。令和5年度より認定こども園に1園が移行したが、事業の該当がなかった。今後も該当の有無について随時確認し、必要時に活用できるよう周知していく。

(14) 母子手帳の交付

子育て支援課

単位：人

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
提供量の見込み	—	118	116	114	112	110
交付実人数実績	—	113	96	111	80	
評価	—	◎	◎	◎	○	

(評価欄記載項目)

- ・提供量に対し、◎ 満足のいく利用実績であった
- 概ね満足のいく実績であった
- △ 不満である

・実施状況

・妊娠届出書(県下統一)の提出により、母子手帳の交付を行っている。
 ・原則、地区担当保健師が母子手帳交付時に全数面接をし、妊娠期からの信頼関係を築く機会としている。出産や育児期に渡って継続支援が必要と判断した場合には、関係機関と連携しながら関わっている。

(15) 産後のケア

子育て支援課

・実施状況

産褥期に育児支援を必要とする母子に対して、助産師などの専門的なスタッフによる保健指導を行うため、近隣の医療機関に委託し、産後ケアを実施した。令和5年度は、宿泊型延べ21件、通所型延べ5件の利用があり、産婦の心身の回復や不安の軽減などに活かすことができた。

(16) 妊婦教室

子育て支援課

単位：人

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
提供量の見込み	—	140	138	136	134	132
延べ利用人数実績	—	18	26	17	24	
評価	—	○	○	○	○	

(評価欄記載項目)

- ・提供量に対し、◎ 満足のいく利用実績であった
- 概ね満足のいく利用実績であった
- △ 不満である

・評価内容と課題

令和4年度まで実施していたマタニティクラスをマタニティカフェへ名称の変更をした。出産前後の情報提供を実施すると共に、子育ての仲間作りの場として、リラックスして会話できる雰囲気作りに取り組むことができた。妊娠中の口腔内を健康に保つための妊婦歯科健診を同日に実施している。さらなる周知と参加率の増加が必要である。

(17) 妊娠期、産褥期の支援

子育て支援課

子育て世代包括支援センター

・実施状況

妊娠届けが提出された時点から、支援が必要な妊婦に対しては訪問や電話などで信頼関係を構築している。産褥期から子育て期へ、きめ細やかな支援を継続している。母親の心身の状態が不安定な産後は、全員に対し助産師による電話や訪問で支援を行っている。虐待が疑われるケースや医療的なケアが必要なケースなどに関しては、関係職種や関係機関と連携しながら支援を行っていく。

(18) 不妊治療の助成

子育て支援課

・実施状況

不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図り、子どもを産み育てやすい環境づくりを推進するため、特定不妊治療(体外受精又は顕微授精)、男性不妊治療、不妊検査など実施に対する助成を行った。

(19)乳幼児健診

子育て支援課

単位： %

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
提供量の見込み	100	100	100	100	100	100
受診率実績	100	97.9	98.4	100	100	
評価	◎	◎	◎	◎	◎	

(評価欄記載項目)

- ・提供量に対し、◎ 満足のいく利用実績であった
- 概ね満足のいく利用実績であった
- △ 不満である

・評価内容と課題

先天異常を含む器質的疾患、身体発育の確認、知的発達・行動発達の評価を中心に確認し健全な発育、発達を促す支援へとつなぐことができた。
また、乳幼児をとりまく環境の評価を行い、小児科医をはじめとする専門スタッフが助言するなど、養育者の育児不安解消に努めた。

(20)新生児聴覚検査助成

子育て支援課

・実施状況

新生児の聴覚障がいを早期に発見し、適切な療育や支援を受けることができるよう検査費を助成した。令和3年度からは医療機関契約にて実施しているが、契約医療機関以外を受診した場合でも、償還払いで対応した。

(21)乳幼児訪問

子育て支援課

・実施状況

保健師や栄養士が随時自宅や幼稚園保育園、療育機関に訪問し実施した。乳幼児の成長発達、養育環境などを確認し継続的に寄り添った支援を行っている。令和5年度は68件(乳児全戸訪問は除く)の訪問を実施し、保健師だけでは対応が難しいケース(虐待、医療的リスクが高いケースなど)は、家庭相談員や医療機関など、関係機関と連携しながら支援した。

(22)乳幼児相談

子育て支援課

①乳幼児相談

・実施状況

コロナの5類移行を受け、木育教室の同時開催及び予約なしでの実施を再開したが、利用は計20名に留まった。乳幼児の発育・発達、育児の相談をうけ、育児不安等の解消につなげた。さらなる周知を行い、必要な人が気軽に相談に来ることができる場所にしていく必要がある。

②すこやか相談

・実施状況

健診時や個別相談時に必要に応じてすこやか相談を勧めるほか、あそびの教室利用者や保育園・幼稚園にちらしを配布し周知を行った。令和5年度は延べ28件の利用があった。相談結果をまとめた紙面を保護者へ内容を面談または電話にて一緒に確認しながら渡すことで、その場の相談に留まらず、発達を促す工夫を家庭で実践していける手助けを行うことができた。

③子育て家族こころの相談室

・実施状況

利用者の希望する日程及び場所で開催し、柔軟に対応し、令和5年度は4件の利用があった。臨床心理士による相談を行い、保護者の育児不安の軽減につなげ、リピーター利用もあった。不安を抱える保護者の利用に繋げられるよう、教室の周知方法等を検討していく必要がある。

(23) 乳幼児教室

子育て支援課

・実施状況

6.7ヶ月児健康教室は74名(67%)の参加があり、昨年度よりも参加率の向上がみられた。教室では、発達月齢に応じた離乳食の進め方やお口の使い方について、栄養、歯科、保健の分野から情報提供を行った。あそびの教室は毎月1回開催し、延べ58人の参加があった。家庭において積極的に子どもと関われる支援を行うとともに、家庭内での関わりで成長が難しい場合は、専門機関の紹介等、次のステップに向けた助言を行うことができた。

(24) 地域療育支援

子育て支援課

ピッコロ療育センター(福祉課)

各保育園

各小学校

・実施状況

・ピッコロ療育センターの指導員が、子育て支援課の保健師と共に各保育園を訪問し、集団の中で気になる子どもの支援について、保育園との3者で話し合い、日常生活の中で健やかな発達ができるように支援した。

・ピッコロ療育センターを利用されている小学生や未就学児の学校や園での様子を確認し、連携しながら支援した。(回答:福祉課)

・作業療法士もしくはピッコロ療育センターの指導員と保健師が、各保育園を訪問し、集団生活のなかで気になる子どもの支援について保育園と3者で話し合い、日常の園生活のなかで健やかな発達ができるように支援した。(回答:子育て支援課)

(25) 思春期の支援

子育て支援課

健康介護課

各小学校

・実施状況

・小中学生を対象に、各小中学校と連携し、心の健康授業(自殺対策の一環)として「SOSの出し方教育」を実施した。市役所等地域にある相談窓口について啓発することができた。(回答:健康介護課)

・令和6年度より性教育を再開予定のため、実施内容の検討を開始した。子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査を通し、性教育に対する保護者の意見を聞き取った。他市町村の事業の情報収集をしたり、小学校養護教諭等の関係者に意見を聞き取り、具体的な実施内容の組み立てに着手した。(回答:子育て支援課)

(26) 予防接種

子育て支援課

・実施状況

予防接種法に基づき、乳幼児・学童・成人を対象に個別接種を実施した。任意接種については、妊娠を希望する女性や妊婦の夫、同居の家族に対しても、風しんの予防接種を実施した。また、インフルエンザの重症化予防のために妊婦と乳幼児・学童に対しインフルエンザ予防接種の補助を行い、感染の予防を図ることができた。

(27) 妊婦歯科健診(妊婦教室と同時開催)

子育て支援課

健康介護課

・実施状況

・妊婦を対象に歯科健診と健康教育を行った。自身の口腔内を健康に保つことの大切さを周知し、生まれてくる赤ちゃんの口腔についての健康教育ができた。(回答:健康介護課)

・感染症予防対策として妊婦自身の口腔内を健康に保つことの大切さを周知し、生まれてくる赤ちゃんの口腔についての健康教育ができた。(回答:子育て支援課)

(28) はみがきけんしん(フッ化物塗布)

健康介護課

単位: %

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
提供量の見込み0歳	27	27	28	30	31	32
提供量の見込み1歳	29	30	30	31	31	31
提供量の見込み2歳	17	18	18	18	19	19
提供量の見込み0~6歳	11	11	12	12	13	13
受診率実績0歳	21.9	20.5	24.8	28.6	37.1	
受診率実績1歳	26.4	18.1	25.7	31.1	31.6	
受診率実績2歳	14.8	10.8	7.6	13.8	14.8	
受診率実績0~6歳	9.9	7.0	7.9	10	11.3	
評価	○	○	○	○	○	

(評価欄記載項目)

- ・提供量に対し、◎ 満足のいく利用実績であった
- 概ね満足のいく利用実績であった
- △ 不満である

・評価内容と課題

未就学児を対象に歯科健診とフッ化物歯面塗布を実施した。歯科医師による診察の場や歯科衛生士による歯科相談の場で、保護者の悩みによりそうことができた。乳幼児相談や健診時での受診勧奨を引き続き行っていく。

(29) フッ化物洗口

健康介護課

単位: %

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
提供量の見込み	99.5	99.5	99.5	99.6	99.7	99.8
実施率実績	99.4	99.3	98.8	98.7	98.6	
評価	○	○	○	○	○	

(評価欄記載項目)

- ・提供量に対し、◎ 満足のいく利用実績であった
- 概ね満足のいく利用実績であった
- △ 不満である

・評価内容と課題

年中児から小学3年生の希望者を対象にフッ化物洗口事業を実施した。園や学校、担当歯科医と連携を取りながら、安全にフッ化物洗口が実施できた。フッ化物の必要性の理解が得られるように、保護者に対して情報提供の充実を図っていく。また、児童生徒に対しては「フッ化物」の健康教育を継続していく。

(30) 小中学校におけるブラッシング指導(歯科健康教育)

健康介護課

単位: 回

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
提供量の見込み	82	85	85	83	83	82
延べ実施回数実績	91	8	17	44	57	
評価	◎	○	○	○	○	

(評価欄記載項目)

- ・提供量に対し、◎ 満足のいく利用実績であった
- 概ね満足のいく利用実績であった
- △ 不満である

単位: 人

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
提供量の見込み	1825	1,900	1,890	1,880	1,880	1,880
延べ参加人数実績	1851	119	429	822	1,070	
評価	◎	○	○	○	○	

(評価欄記載項目)

- ・提供量に対し、◎ 満足のいく利用実績であった
- 概ね満足のいく利用実績であった
- △ 不満である

・評価内容と課題

各小中学校より指導の希望を受けて実施した。学校や歯科医師会の協力のもと、学年別クラス別ブラッシング指導を行い、個々のブラッシング技術の向上を図った。う蝕や歯肉炎リスクの高い児への継続的なアプローチが必要である。

(31) 保育園食育活動

子育て支援課

各保育園

・実施状況

食育サポーターが市内保育園(7園)を訪問し食育活動を行った。年長児対象には東海農政局のシールブックを活用して食べ物がどこから来るのか、野菜はどの部分を食べているのかなどを伝え、生産者への感謝の心を育てたり野菜への関心を高めるよう活動を行った。年中児から年少児には紙芝居やエプロンシアターを活用し、食べたものが体の中でどのように運ばれて変化していくかを伝えた。また、家庭でも親子で野菜や料理に親しんでもらうため、全8品の野菜料理をコードモン(IGTプラットフォーム)と市HPで配信した。

(32) 自然体験保育

子育て支援課

各保育園

・実施状況

市立保育園各園において、専門家を招いて自然体験の事前研修や、周辺の自然を活用した体験を実施し、事後研修も行ったことで、こどもの自然への興味をより引き出し、保育士のスキルアップを図ることができた。

(33) ワーク・ライフ・バランス

子育て支援課

・実施状況

ハローワーク、マザーズコーナー担当者によるオンライン相談会を、高富児童館において年12回実施し、母親の再就職の支援を行った。子育てと仕事の両立を念頭に、母親自身の働き方などを考え、より良い再就職に繋がるよう支援している。

教育・保育事業

単位:人

令和2年度		1号	2号	3号	
		3歳児から5歳児	3歳児から5歳児	1、2歳児	0歳児
児童数(4月1日現在)		509		300	104
0から2歳児の保育利用率目標				57.6%	30.9%
幼・保等施設利用者	特定教育・保育施設利用者	1	342	173	28
	私学助成の幼稚園利用者	113	51		
	特定地域型保育利用者			0	1
	合計	507		173	29
提供量		670		199	41
利用率(合計÷児童数)		99.6%		57.7%	27.9%

0歳児の保育については、30.9%の目標に対して 27.9%となった。
 1・2歳児の保育については、57.6%の目標に対して、57.7%となった。
 3歳児から5歳児の教育・保育の合計が99.6%、保育のみであれば77.2%の利用率となった。

令和3年度		1号	2号	3号	
		3歳児から5歳児	3歳児から5歳児	1、2歳児	0歳児
児童数(4月1日現在)		466		244	113
0から2歳児の保育利用率目標				55.9%	31.1%
幼・保等施設利用者	特定教育・保育施設利用者	0	301	148	32
	私学助成の幼稚園利用者	120	39		
	特定地域型保育利用者			6	3
	合計	460		154	35
提供量		670		199	41
利用率(合計÷児童数)		98.7%		63.1%	31.0%

0歳児の保育については、31.1%の目標に対して 31.0%となった。
 1・2歳児の保育については、55.9%の目標に対して、63.1%となった。
 3歳児から5歳児の教育・保育の合計が98.7%、保育のみであれば73.0%の利用率となった。

令和4年度		1号	2号	3号	
		3歳児から5歳児	3歳児から5歳児	1、2歳児	0歳児
児童数(4月1日現在)		464		224	89
0から2歳児の保育利用率目標				52.6%	30.7%
幼・保等施設利用者	特定教育・保育施設利用者	1	302	117	26
	私学助成の幼稚園利用者	114	49		
	特定地域型保育利用者			10	2
	合計	466		127	28
提供量		670		207	43
利用率(合計÷児童数)		100.4%		56.7%	31.5%

0歳児の保育については、30.7%の目標に対して 31.5%となった。
 1・2歳児の保育については、52.6%の目標に対して、56.7%となった。
 5歳児から3歳児の教育・保育の合計が100.4%、保育のみであれば75.6%の利用率となった。

令和5年度		1号	2号	3号	
		3歳児から 5歳児	3歳児から5歳児	1、2歳児	0歳児
児童数(4月1日現在)		429		212	97
0から2歳児の保育利用率目標				52.3%	31.2%
幼・保等 施設利用者	特定教育・保育施設利用者	10	278	132	31
	私学助成の幼稚園利用者	89	54		
	特定地域型保育利用者			7	2
	合計	431		139	33
提供量		602		207	41
利用率(合計÷児童数)		100.5%		65.6%	34.0%

0歳児の保育については、31.2%の目標に対して 34.0%となった。
1・2歳児の保育については、52.3%の目標に対して、65.6%となった。
5歳児から3歳児の教育・保育の合計が100.5%、保育のみであれば77.4%の利用率となった。

令和6年度		1号	2号	3号	
		3歳児から 5歳児	3歳児から5歳児	1、2歳児	0歳児
児童数(4月1日現在)		411		212	102
0から2歳児の保育利用率目標				52.6%	30.5%
幼・保等 施設利用者	特定教育・保育施設利用者				
	私学助成の幼稚園利用者				
	特定地域型保育利用者				
	合計	0		0	0
提供量		602		207	41
利用率(合計÷児童数)					

--